

令和6年度西柴小防災拠点第一回全体会議録

(20241002 書記：小櫃)

日時： 2024年9月8日(日) 10時00分～12時00分

場所： 西柴団地自治会 会議室 (1F大広間、2F・C会議室)

出席者： 56名 <委員数 91名 出席率 61.5%>

(内訳) ○本部関係(含む：学校再開班、兼務者は除く) 10名 (兼務は3名)

○情報班 (アマチア無線関係者含む) 10名

○避難者管理班 12名 ○環境衛生班 8名

○食料物資班 5名 ○救護班 11名

<詳細は参加者名簿に記入しました>

■進行方法

参加者に当日配布した

令和6年度「西柴小学校地域防災拠点運営委員会」第一回全体会議 レジюме

資料(以降配布資料という)を基に進行した。

会議録は意見交換した内容を記載、詳細は配布資料を参照ください。

尚、配布資料に記載ミスがある指摘を受け口頭で訂正をしています。(今回会議録ではレジюме資料訂正分として添付しています)

■進行状況報告

<<会議の目的>>

① 拠点運営委員の役割を知る

② 11月17日(日) 拠点訓練までに何をするかの確認

班ごとに意見交換を行い発表する。(メインテーマ)

<<進行>>

1. 主要メンバー紹介 司会者が紹介(名前のみ)

①本部関係者 ②各班 代表1名

2. 主要メンバーからの挨拶 <進行変更>

会長挨拶のみとして他本部メンバーは最後にまわした。

○山田委員長 → 拠点の役割と運営の協力を依頼

○川上副委員長より発言あり

「地域防災拠点運営研修」に出席しての感想として「拠点」の呼び名は横浜独自であり、他市から来た人は分かりにくい、要は「避難所」であり伝え方に工夫が必要と感じた。

3. 拠点の役割 司会者から説明

(1) 運営委員とは

委嘱状に同封した「西柴小学校のマニュアル」を参照頂き、

2ページと**5～8ページ**の確認。

詳細は横浜市HP「地域号災拠点」開設・運営マニュアル」を閲覧願います。

(2) 昨年度の訓練内容と課題 <配布資料のポイントのみ説明>

○1ページ <昨年度訓練内容>

○2ページ<昨年度反省会での主な課題>

各班の部分を各班の意見交換時に話し合ってください。

- 3 ページ (3) 今年度の訓練内容の提案
- 4 ページ <昨年度の会計報告>
を行った。

4. 各班に分かれての意見交換

<班長が進行、記録係 1 名決める>

- ① 自己紹介 (氏名、過去の経験を簡単に紹介) <10 分過ぎたら氏名のみの紹介>
- ② 訓練について意見交換
 - ㊦ 所属になった班の役割について「マニュアル」で理解できたか
 - ㊧ どの様な訓練が必要か <— フリーにトークして班としての意見をまとめる

5. 各班からの発表 (発表順に記載)

■ 本部 (山田)

- 本部メンバーの連絡網が必要ではないか
- 学校営業時間外に発災した場合の設置対応を検討しておく必要あり
(どこに何が格納されているかの把握)
- 避難所開設キットの西柴小用のカスタマイズが必要

■ 情報班 (金田)

- 昨年実施した内容を今年度も実施してマニュアルの整備を行う
- 掲示板は白板を使用する
- アマチュア無線との連携と本部伝達の手順の確認
- 避難者との共同訓練については設置ではなく使い方の訓練をしたい。

■ 救護班 (小池)

- 図工室 テーブル配置 → 1 1 / 2 確認
- 救護資機材 (救護バック、血圧計、大人用マスク) 数の確認
- 簡単な応急処置 ○校舎内に救護室の案内
- 医師・看護師等の有資格者の方を救護班に元から入れておく
- 学校内にある A E D の場所を把握
- 地域防災拠点の備蓄庫がどれだけあるか地域住民に知ってもらい、自宅に用意してもらい、自宅で過ごしてもらう。
- 備蓄品がどこにあるか確認 ○学校職員がこないと教室は使えない。

■ 環境衛生班 (増田)

- トイレの確保について
 - ハマッコトイレの設営の方法について
 - お年寄りのトイレはどうするか
 - 緊急用トイレの水を出す場所について見ておく
 - 簡易トイレ用の囲いを設置してはどうか?
小学校の一階や二階にも設置してはどうか
- 仮設風呂は初めての事なので実施可能なのか判らない。
(拠点マニュアルの 2 ページの役割にあり)

○避難所の防疫対策について

どの様に行っていくのか？

○男女のプライベートスペースについて

赤ちゃん用スペース、 女性のためのスペース

■ 食料物資班（脇本）

○かまど君に関して

●タイミングはいつ ●米（無洗米） ●実際に炊く作業をするか

●炊くのに2時間必要 早めに作業をするか

○食料班としての連絡網

○炊いたご飯は袋に入れて供する

○物資の過不足については逐次把握して情報班に伝える。

○状況に応じた配布方法（公平な方法）

○作動の確認 、 場所の確認

■ 避難者管理班（吉田）

○受付の場所（正門側、裏口側）の検討入口との関係

○ポイントごとに人が立ち避難者を誘導する場所を見直す。

○名簿の記入方法の簡素化が必要

○首吊り型の名札を渡す（名札色で班別け ○避難者 I Dカード）

※ 各班から発表があった事項を基に今年度の訓練内容を考える！！

本部関係者が 11 月 2 日第二回全体会議で訓練内容を報告する。

6. 今後の予定確認

■ 活動名 ■ 日 時 ■ 集合場所 ■

① ~~第一回全体会議 9月8日(日) 10時～12時~~ 本日実施

② 第二回全体会議 11月2日(土) 10時～12時 <西柴団地自治会館 1 F >

—>（訓練内容の確認と各班の訓練準備）

③ 備蓄庫の点検 11月2日(土) 14時～16時 <西柴小学校 C棟前>

④ 拠点訓練 11月17日(日) 9時～12時 <西柴小学校 C棟前>

 委嘱状では10時となっているが今回検討で変更

⑤ 反省会 12月1日(日) 10時～12時 <西柴団地自治会館 1 F >

—>（各班から代表者が集まり反省会、 次年度活動確認）

7. 閉会

(1) 講評

金沢区役所（金田 課長、 橋之口 係長）、西柴小学校（柴原 校長、 永島 副校長）

西柴小拠点運営委員（池上 副委員長、大塚 会計）

(2) 閉会の辞

山田 委員長

終了